

平成29年度石川県防災総合訓練において通信・放送確保訓練を実施 ～ 石川県及び金沢市の臨時災害放送局の同時開設訓練を実施 ～

北陸総合通信局（局長：濱島 秀夫）は、平成29年9月3日（日）、石川県及び金沢市の主催により実施された石川県防災総合訓練に参加し、犀川緑地会場と石川県庁舎において以下の訓練・展示を行いました。

◎ 臨時災害放送局（模擬）の開設訓練

被災想定自治体である石川県及び金沢市が、被災者支援情報や生活関連情報を正確かつ迅速に伝達するため、それぞれの臨時災害放送局（FM放送局）を開設する訓練を実施しました。

石川県臨時災害放送局開設訓練では、石川県が当局所有の臨時災害放送局用機器一式を借り受け、金沢市鞍月の石川県行政庁舎の屋上に臨時災害放送局の放送機材及びアンテナを設置。当日の午前9時から午前11時過ぎまで臨時災害放送局を模した訓練放送を実施しました。

金沢市臨時災害放送局開設訓練では、金沢市が株式会社ラジオかなざわの協力を得て、臨時災害放送局（FM放送局）を開設。犀川緑地会場に臨時サテライトスタジオを設営し、当日の午前9時から午前11時まで臨時災害放送局を模した特別放送を実施しました。



臨時災害放送局を模したサテライトスタジオ<犀川緑地会場>



北陸総合通信局所有の臨時災害放送局用機材の本体部（写真左）とアンテナ部（写真右）。災害時又は訓練時に地方公共団体への貸出しが可能。最大出力は100ワット<石川県庁>

特別放送では、訓練会場の来場者の方々も出演され、防災訓練を見て感じたことや日頃実践している防災対策などを話していました。

これら臨時災害放送局の開設に要する地方公共団体から北陸総合通信局への申請手続きは、臨機の措置により口頭で迅速に処理する訓練を併せて実施しました。

会場及びその周辺において、小型ラジオやカーラジオで特別放送の聴取ができることを確認しました。

◎ 臨時地デジ中継局（模擬）の開設計訓練



N H K の非常用送信車

地上デジタル放送中継局が被災により機能停止したとの想定で、NHK金沢放送局が非常用送信車を用いて代替となる中継局を開設計訓練を実施しました。

訓練では、NHK所有の非常用送信車を犀川緑地に設置し、臨機の措置により口頭で迅速に放送局変更申請・許可手続きを行った上で、実際に試験映像を放送しました。

会場内では、実際にフルセグやワンセグのテレビで当該放送波を受信、視聴できることを確認しました。

◎ 公共ブロードバンド移動通信システムを用いた情報収集の実演

富士通（株）及び（株）富士通ゼネラルと共同で、訓練会場内に、ビデオカメラ、アンテナ、テレビ（ディスプレイ）、無線機2台（移動局・基地局）等で構成された公共ブロードバンド移動通信システムを設置し、訓練会場などの模様を撮影して、情報収集の実演を行いました。

このシステムの電源は、当局所有の災害対策用移動電源車から供給しました。



公共ブロードバンド移動通信システムの無線機。無線機を背負って移動しながら映像や音声を送送することが可能。

◎ 災害対策用移動通信機器等の展示

災害時等に当局から地方公共団体等へ貸与可能な簡易無線機、MCA無線機、衛星携帯電話、災害対策用移動電源車（小型）、ICTユニットなどを展示しました。



災害対策用移動通信機器等の展示。（ICTユニット、MCA無線機、簡易無線機、衛星携帯電話）



当局所有の災害対策用移動電源車



谷本知事（左）が当局ブースを視察された

今後も当局では、災害発生に備え平時から地方公共団体、放送事業者等との連携を強化するとともに、情報通信を活用した防災の各種施策に取り組んでまいります。

お問い合わせ先：防災対策推進室 TEL 076-233-4479